



Title	編集後記
Citation	教授学の探究, 25
Issue Date	2008-02-14
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/32336
Type	bulletin (article)
File Information	10 editorsnote.pdf



[Instructions for use](#)

【編 集 後 記】

附属図書館の書籍の一部を研究室で管理しています。その中の洋書数冊が、この10年一定の人気を保っています。そのテーマを研究する者であれば、その内容に同意するか否かは別として、一度は目を通しておくべき文献です。借用に訪れた人は、いつも決まって、翻訳書はひどいですねといいます。10年以上前に私も同じ感想を持ちました。concept と conception の違いを気にもせず、訳しているなどはまだ軽症の方で、どう考えても日本語として意味不明という重篤な文章が多々あります。こんなずさんな翻訳がまかり通る研究分野なのかとあきれると同時に、こんな書籍で勉強を始める学生がたくさんいるのかと思うと暗い気持ちになったものです。

あらためてしっかりとした翻訳で出版しようという人もいます。私はそこまでその内容に入れ込んではいませんが、横のものを縦にするなら、最近の映画の題名のようにカタカナばかりで逃げるのではなく、適切な日本語の言葉を真剣に探求すべきでしょう。ところで、そうした苦勞に時間をかけるなら、いっそのこと英語のままにしておくほうが、学生が原著を手にするきっかけが増えて良いかもしれません。大学教育の国際化が重要であるといわれる時代ですから。【E】

編 集 委 員

須 田 勝 彦

大 竹 政 美

大 野 栄 三

教 授 学 の 探 究 第25号

2008年2月8日 印刷

2008年2月14日 発行

編集・発行 北海道大学大学院教育学研究院
教育方法学研究室
(060-0811 札幌市北区北11条西7丁目)

印刷所 北海道印刷企画株式会社
(064-0811 札幌市中央区南11条西9丁目)
